

## 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	イ 若い世代が経済的に安定し、結婚・妊娠・出産から育児ができる支援体制の強化
	② 新婚家庭が安定した生活をするための支援体制整備
	1 安心して結婚・出産ができる支援体制の強化
事業名	結婚生活サポート事業【新規】
担当課名	総合窓口課
関係課名	
所属長名	平山好子
事業の目的	少子高齢化が加速する本町において、若年層の定住と出生数の増加は喫緊の課題であるため、次世代を担う若年層を対象に、その結婚を奨励祝福し、結婚祝金を支給することで家庭づくりを推進し、地域活性化に資することを目的とする。
事業の内容	夫婦とも婚姻届後3ヶ月以内に町の住民基本台帳に記載されている者で、祝金支給後3年以上居住することを確約し、夫婦のいずれも町の収入金を滞納しておらず、過去において夫婦のいずれかが祝金の支給を受けていない夫婦に50,000円を支給。
事業の実績・取組状況	新上五島町結婚祝金支給条例を制定した。(H28.4.1施行)
成果(できたこと)	新上五島町結婚祝金支給条例を制定したことにより、H28.4.1からの祝金支給の準備を整えることができた。
課題(できなかったこと)	—
担当課評価	B H28.4.1からの祝金支給の準備を整えることができた。
課題の解決策(目標(KPI)向上に向けた今後の取組方法)	次世代を担う若年層の家庭づくりを推進するため、引き続き結婚祝金を支給し、結婚を奨励祝福する。
委員評価	B 2次評価のとおり

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

## 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	イ 若い世代が経済的に安定し、結婚・妊娠・出産から育児ができる支援体制の強化
	② 新婚家庭が安定した生活をするための支援体制整備
	1 安心して結婚・出産ができる支援体制の強化
事業名	妊婦健診受診交通費助成事業
担当課名	こども課
所属長名	堤 田 勝
関係課名	
事業の目的	妊婦の医療機関での一般健康診査及び精密健康診査の受診機会増大と、対象家庭の経済的負担の軽減により母子保健の向上を目的とする。
事業の内容	通院距離が上五島病院からバス路線で20キロメートルを超える地区に在住する妊婦に対して交通費を助成する。
事業の実績・取組状況	平成27年度実績 ・平成27年度利用者数 5人 ・交通費助成 33,000円 (55回分)
成果（できたこと）	妊婦の受診機会の増大と対象家庭の経済的負担の軽減により、母子保健の向上が図られた。
課題（できなかったこと）	—
担当課評価	B 補助制度の周知を図り、制度の利用をすることで継続的な健診受診・経済的な負担の軽減を図ることができた。
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	制度の利用に向け、補助制度の周知を図り、健診受診率の向上と地域的な住民の不平等をなくす。
委員評価	B 2次評価のとおり

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

## 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	イ 若い世代が経済的に安定し、結婚・妊娠・出産から育児ができる支援体制の強化
	② 新婚家庭が安定した生活をするための支援体制整備
	1 安心して結婚・出産ができる支援体制の強化
事業名	安心出産支援補助事業【拡充】
担当課名	こども課
所属長名	堤 田 勝
関係課名	
事業の目的	本町の医療機関からリスクの高い分娩として紹介された妊婦の本土での出産に対し、出産に際しての経済的支援を行うことによって、母子に安全・安心な出産を確保することを目的とする。
事業の内容	<p>出産（妊娠34週をすぎた妊婦）に備え事前に本土で待つ際の宿泊費など経済的な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本土での宿泊費及び移送費 補助率 2/3 （H28年度から 10/10）</li> <li>・交通費 限度額 月額1万円 （H28年度から 限度額無しの実費相当額）</li> </ul>
事業の実績・取組状況	<p>平成27年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度利用者数 2人</li> <li>・交通費助成 35,700円 2人</li> <li>・宿泊費助成 16,600円</li> </ul>
成果（できたこと）	本町の医療機関からリスクの高い分娩として紹介された妊婦（妊娠34週すぎた妊婦）に対して、制度を利用することで、出産に際しての経済的支援を行うことができた。
課題（できなかったこと）	平成27年度は産婦人科医の2人体制で診療を行っているが、医師が1名になった場合はリスクのある出産は島外に依頼するケースが増加する。
担当課評価	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">B</p> <p>本町の医療機関からリスクの高い分娩として紹介された妊婦（妊娠34週すぎた妊婦）に対して、制度を利用することで、出産に際しての経済的支援を行うことができた。</p>
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	本助成制度の周知を図っていく。島内の産婦人科医師が1名になった場合、リスクのある出産は島外に依頼することが増加することが考えられるので、利用状況を確認していく。場合によっては、要綱改正も検討していく。
委員評価	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">B</p> <p>2次評価のとおり</p>

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。  
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

## 新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	イ 若い世代が経済的に安定し、結婚・妊娠・出産から育児ができる支援体制の強化
	② 新婚家庭が安定した生活をするための支援体制整備
	1 安心して結婚・出産ができる支援体制の強化
事業名	不妊治療費助成制度事業【新規】
担当課名	こども課
	所属長名 堤 田 勝
関係課名	
事業の目的	子どもがほしいと望んでいるにも関わらず、子どもに恵まれないご夫婦の不妊治療を支援し、経済的負担の軽減と子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。
事業の内容	1回の特定不妊治療に要した費用の額から県助成額を控除した額を支援する。ただし、特定不妊治療1回につき県助成額の2分の1に相当する額を限度とする。
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度は取組無し。
成果（できたこと）	—
課題（できなかったこと）	—
担当課評価	—
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	制度の利用に向け、補助制度の周知を図る。
委員評価	次年度以降に評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。